

技術士 2 次試験に合格して



藤島 義知

(ふじしま よしのり)

勤務先

株式会社 イズム・グリーン

〒070-0026 旭川市東 6 条 4 丁目 1 番 18 号
TEL 0166-23-0440 FAX 0166-23-1434
E-mail y.fuzishima@izmgr.co.jp

■ 専門：農業部門(農業土木)

1. 自己紹介

私は 1966 年(昭和 41 年)に旭川市で生まれました。小学校から高校卒業まで旭川で過ごし、1989 年(平成元年)に青森県の八戸工業大工学部・土木工学科を卒業後、札幌市に本社をおく北海道農業土木コンサルタント株式会社(現、農土コンサル)へ入社しました。

入社当時は、主に畑地かんがい用パイプラインの設計に従事していました。その後は、土地改良事業の計画変更資料作成や、かんがい施設完成後の通水試験、かんがい施設の維持管理マニュアルの作成等、様々な農業土木の仕事に携わってまいりました。

2005 年(平成 17 年)からは、旭川市にある株式会社イズム・グリーンに勤務しております。当社は道路や河川の設計業務を主に行っておりますが、道路や河川に隣接する土地では必ずと言っていいほど、水田や畑があり、農業施設と競合する設計や、土地改良区との協議などに、農業土木の技術や知識は大いに役立っています。

2. 技術士試験に至る経緯について

現、農土コンサルに在職中は、平成 12 年度に「技術士補(農業部門)」、平成 14 年度に「RCCM(農業土木部門)」の資格を取得しました。

そして次なる目標は、社内の先輩技術士からの指導もあり、「技術士」と決めていました。

技術士の受験に当たっては、前職で培った農業部門にするのか、現在の会社の専門としている建設部門(道路・河川砂防)にするのか迷いましたが、自分の技術者としての原点は、農業土木にあるとの考えから、思案のうえ「農業部門」と、することにしました。

3. 技術士二次試験について

(1) 筆記試験について

技術士二次試験は、平成 17 年度から平成 29 年

度にかけて 2 度、試験内容の変更がありました。その都度、受験対応に迫られながら 13 回目の受験で合格を果たしました。

私は平成 25 年度から会社の勧めにより、「技術士第二次試験受験対策セミナー」を受講しました。講師の方々から手厚い添削指導を受けたことで、合格水準に達する論文を多く作成することが出来るようになりました。また、まわりの技術者仲間が、毎年合格していく姿を目の当たりにし、12 年間諦めずに技術士試験に挑戦し続け、「ネヴァーギブアップ」の精神で頑張り続けました。これらが合格の道を開いた大きな要因だったと思っています。

(2) 口頭試験について

口頭試験は、社内で 2 回模擬試験を行ってもらい更に社外で実施する模擬試験を受け、口頭試験に臨みました。

先輩技術士からは、口頭試験の励ましの手向けに「練習は本番のように、本番は練習のように」との言葉をいただきました。試験会場ではその言葉を思い出し、普段通り緊張することなく受験できました。

口頭試問内容は、模擬試験等で想定された質問が多く出されました。このことが無事に対応することに繋がり、試問時間も思ったより短いものでした。

4. 今後の抱負

今後の目標は、当社の専門としている建設部門の技術士取得を目指すことです。更に幅広い知識と技術を身に付けていくことは、技術士の名に相応しい技術者になる大事なことと考えています。

これまで親身になって、ご指導頂きました皆様には、新米技術士への助言と、新たな目標達成のアドバイス等、これからも変わらないご指導をお願い申し上げます。